

事業所名: ありえす

実施: 令和6年2月 / 公表: 令和6年3月30日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など	今後の検討事項、改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		1		運動的な活動にはもう少し広い場所が欲しい	基準は満たしている。活動内容によっては事業所内ではスペースが足りないと感じる時もあるが、時と場合により地域の施設を使用して活動している。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2	1		規準定数内でも活動内容や利用者との人数によって、安全面で気になる時がある	配置数は適切で基準を満たしている。状況により体制を調整する時もあるが、全てに応えるのが難しいこともある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6					
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		2	4		毎日の業務に追われ、PDCAサイクルどころではない	検討する機会が少なく、職員全員が集まるのは難しい。多くの職員が参画可能な日を設定するとともに、紙面などで情報を共有できる機会を増やしたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	5			保護者等の面談は必要に応じてやっているが、数字になるアンケートはやっていない	職員が集まれる時間を設けたり、紙面で情報を共有し、業務改善につなげたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3			保護者や職員に評価の結果を紙面で伝え、広く周知したい	ホームページには公開しているのは職員に伝わっているが、今後より深く周知したい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	2			現時点では行っていない。事業運営の改善などを図る為に、可能な限り外部評価を行いたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2			実施回数が少ない	外部研修での内容を、組織内で活かせる研修を今後行い、職員の資質向上に努めたい。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	1			職員が分析し易い様式を確立するとともに、保護者との面談を通してニーズや課題を相互で確認し、計画に反映させたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		5	1			支援状況により全職員が評価ツールを使うことが難しい。その際は記録として残り、状況把握の共有に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	3	2		活動内容によっては中心となる職員で立案は行っているが、相互間での情報共有がされていないことがある	日々の活動内容は事前に検討して計画、立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2			日によっては活動を固定化した方がよい場合もあるが、その他の日については職員数が少ないので工夫が難しい	活動内容は状況により変化をもたせているが、基本的な活動プログラムの内容は決まっている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	1		ほとんど確認できないとの意見もあったが、実際は細かに設定しているが、実際行えないことも多くある。今後職員への周知を行いたい	きめ細かに設定することが難しい曜日もあるが、状況によって活動に変化をもたせている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1			個別活動と集団活動を組み合わせているが計画性が不足	活動の状況に応じて適時計画を立案しているが、今後は職員が分かり易いように計画案を職員により深く周知できるように努めたい
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3		1	内容は確認しているが役割分担はない	きめ細かい設定まで伝えることが難しい場合がある。または伝えても実際行おうのが難しいことがある。紙面や口頭などでも設定内容を伝えているが、今後は職員がより分かり易いようにしたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2	3		その日には全く行われていない。時間的に無理である。日誌入力者が他の職員に様子を聞いて入力しているが、時間的に厳しい。	振り返る時間を確保することが難しいが、支援時の状況を些細な事でも記録に残して情報を積み重ね、支援に活かしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	4	1		改善につながらない場合が多い	支援当日に話し合うことが難しい場合は、後日支援内容について話し合い、改善につなげている
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1		5		各自個人では行っているが、組織として取り組む時間が少ない。	日々の支援を振り返り、必要性がある場合は見直しを行っているが、職員に広く周知できるように努めます	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		6				他事業所との連携については、検討する必要がある	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2				サービス担当者会議への出席要請があれば参画するが、現状ない
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1			必要に応じて行っているが、回数が少ない。	必要に応じて情報の確認や共有を行っている
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	1	1	判断できない 医療ケアは行っていない	現時点は受け入れがないが、今後受け入れがある場合は、ご家族などに指示を仰ぎ、対応したい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		1	判断できない めったにないが、機会があれば情報共有する	必要に応じて、保護者の方から情報をいただいている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		1	判断できない 対象者が居なかったが、あれば対応したい	必要に応じて情報の確認や共有を行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	1	1	判断できない 機会があれば連携や参加したい	今年度は受け入れがなかったが、機会があればぜひ受け入れたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4		公共施設で出会う機会はあるが、活動や交流はほとんどない	公共施設などで、交流する機会がある時もある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	2		機会があれば参加したい	必要に応じて担当者が参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1			共通理解できるように努力しているが実際には理解できていない	連絡帳で伝えることが難しい場合は、口頭で伝えている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1	1	判断できない トレーニングという名の支援ではなく、アドバイスなどは行うこともある	家庭にはそれぞれの事情があり、支援は相当に難しい。必要性に応じて、微量ながらも支援的なことをさせていただいている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		1	判断できない 管理者等の職員が行うので、現場職員が関与することは少ない	契約時などに行っているが、必要に応じて対応したい
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			2	判断できない 内容によって応じられるが我々と家庭と学校だけでなく行政も含めた大きな枠組みが必要である	必要に応じて、微量ながらも行わせていただくこともある
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	3			保護者会開催の希望があるので、今後は開催できるように検討したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6					
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6					季節ごとに日々の活動を紹介した広報を発行しているが、より一層保護者様に広く周知できるように努めます
	35	個人情報に十分注意しているか	6					
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6					変わった様子が見られた場合などは、保護者に伝えている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3			現状では内部での行事が多く、地域住民を招待する行事がない
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1			マニュアルは作成されているが、周知徹底はされていない為、今後発信の方法を考えていく	マニュアルは作成されており、常に関覧可能なので、周知されるように工夫したい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		1		定期的ではないので、今後は定期的に行いたい。	全員が参加できる状況ではないが、定期的に避難訓練や避難場所の確認を行っている
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2			やっちはいるが組織的、継続的には難しい。	研修があれば参加しているので、その内容を職員間でも共有できるようにしたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	1	2	判断ができない。記載だけでなく実践の必要がある。身体拘束は行っていない。	必要があれば法人の基準に従い、対応する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2			医師ではなく保護者の指示により対応している。	食物アレルギーの対応が必要な場合は情報を共有し、医師の指示に基づき対応したい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	1		話合いの場が少ない。	今後も事例を共有できるように話し合いの場の回数を増やし、回覧なども継続したい

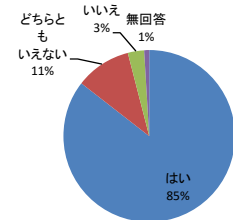
事業所名: ありえす

実施: 令和6年2月 / 公表: 令和6年3月30日

回収率 90% (回収18/配布20)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18				
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18				
	⑤	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	2			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	9	6		利用回数が少ないので分かりません。特に必要としていない。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1			職員全員だとそうとも言えない。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	11	3		大変だと思うがやってみよう。 特に必要としない。 公共施設での発表会の時のみなので、もう少し機会があると良い。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	1		1	苦情がないので判断できない。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18				
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	4	1	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1		1	判断できない。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17	1			
合計			277	34	10	3	

今後の検討事項、改善目標
利用者様の要望に応えられるよう、職員の支援向上に努めて参ります。
日々の活動のなかで課題となることに関しましては、保護者様、関係機関や事業所内で相談を行い、支援に反映させていただいております。
週のプログラムは固定していますが、状況に合わせて柔軟に対応させていただきます。
外出先の公共施設などで出会う機会がありますが、交流を行うことは難しい状況です。
連絡帳や送迎時だけでなく、希望に応じて面談を実施させていただいております。その際は利用者の状況や課題を伝えることができるように対応しております。
面談は必要に応じて、またその都度対応させていただきます。
必要とされないご意見もありますが、公共施設での発表に関しましては、場所の確保等の状況次第で開催できるように努めて参ります。保護者会も同様に対応して参ります。
このような場合が生じた際は、対応は迅速に行わせていただきます。
適切な配慮が行えるよう、努めて参ります。
マニュアルは作成されていますが、今後も保護者様に広く周知できるように努めます。
定期的に避難訓練及び、避難場所の確認を行っており、実施された際には連絡帳などで保護者様にお伝えしております。状況により、職員のみで行うこともありますが、その場合も連絡帳などでお伝えさせていただきます。
利用者様が安心して過ごしていただけるよう、今後も活動内容の工夫に努め、支援の向上に努めて参ります。
今後も皆さまに満足していただけるよう努めて参ります。



*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。